

白山国立公園

<メニュー>

メニュー

ホーム

白山の紹介

登山道

施設

白山の天候、気温、日の出・日の入りの時刻

白山室堂

施設

予約カレンダー

白山雷鳥荘

施設

予約カレンダー

オンラインパンフレット

日本語

英語

韓国語

簡体字中国語

繁体字中国語

<ホーム>

白山観光協会

白山国立公園

登山情報

白山は、富士山、立山と並ぶ日本三霊山のひとつです。周囲の山々よりも高くそびえる白山は、冬から初夏までにかけて真っ白な雪に覆われることから、「白い山」を意味する名前が付けられました。

白山は、この地域に恐竜がおり一帯が湖沼と河川で覆われていた 1 億年前まで遡る長い歴史を持っています。

現在見られる山々はおよそ 40 万年前の火山の噴火によって形成されました。

伝説によれば、717 年に初めて白山登頂を果たした人物は、泰澄（682～767 年）という僧侶でした。泰澄は、仏教、神道、山岳信仰の教えを取り入れた修験道という宗教における重要人物です。修験道と白山の結びつきは今でも残っており、白山三峰で一番高い御前峰（2,702 メートル）の山頂には、白山比咩神社奥宮が鎮座しています。

白山は、石川県、福井県、岐阜県、富山県にまたがる白山国立公園の中核です。白山には多様な生態系が繁栄しています。白山を登る途中で、ブナとダケカンバの森を通ります。より標高が高い場所では木々がまばらになり、かわりに、夏を通して色とりどりの花を咲かせる高山植物が現れます。イヌワシ、キツネ、ツキノワグマなど、多くの哺乳類、鳥類、両生類がこの公園を生息地としています。1980 年、白山は、ユネスコの「人間と生物圏計画」（UNESCO Man and the Biosphere）の自然保護地に指定されました。